

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 大紀町	対談項目1 地域医療の充実について	<ul style="list-style-type: none"> ・大台厚生病院の建設にあたり、建設用地は旧宮川高校の跡地の8割を無償譲渡していただき、また旧校舎の取り壊しや、建設費用を補助していただき、感謝しています。 ・医師の確保について、県の支援をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年の開院に向けて、県としても引き続きしっかりと支援をしていきたいと思っています。 ・医師確保対策として、医師修学資金貸与制度により、医師が県内に定着するよう取り組んでいます。 ・また、「三重県地域医療支援センター」を設置し、17診療領域の臨床研修プログラムを作成し、医師に県内でキャリアアップをしてもらい、医師確保支援につなげていきたいと思っています。 ・大台厚生病院も、整形外科、脳神経外科のプログラム対象病院として参画をいただいていますので、この機会に病院の良さも感じていただければと思っています。 ・さらに、看護師の確保についてもしっかりとやっていきたいと思っています。
2 大紀町	対談項目2 地域公共交通について	<ul style="list-style-type: none"> ・三重交通高速バスの路線変更に伴い、紀勢大内山インター近くのバス停留所にバスレーンを新設していただき、ありがとうございました。 ・コミュニティバスについても、引き続きご支援をお願いします。 ・今後、障害者や高齢者がバス停まで歩くのが困難な場合、どのように支援していくのが課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県では29市町中、28市町でコミュニティバスの運行をしていますが、料金無料となっているのは大紀町を含め4市町のみです。 ・平成23年度から市町のバス運行に関する国の補助制度ができたので、バス運営の継続ができるよう、我々も支援をしていきたいと思っています。 ・また、他の市町の良い取組等についても情報提供をしていきたいと思っています。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 大紀町	対談項目3 減災対策について		<ul style="list-style-type: none"> ・錦地区の津波対策については、概ね完成しました。 ・今年度から本格的に減災対策に入ることとしました。 ・引き続き県のご支援をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・減災対策については、ハード整備だけでは命を守りきれない中、大紀町は訓練等のソフト面においても先進的に取り組んでいただいています。 ・錦漁港では、L1津波を想定した防波堤や耐震強化岸壁について取組を進めているところです。 ・また、錦漁港は防災拠点漁港として県の防災計画に位置付けており、緊急物資の輸送を図るため、岸壁の耐震化の整備をすることとしています。 ・今後も、漁港施設の減災対策を進めながら、町の減災対策の取組を支援していきたいと思っています。